

インフォシス、200 を超えるエンタープライズ AI エージェントの提供開始

これらのエージェントは、企業のプロセスを変革するよう設計され、
Google Cloud のエージェント型 AI フレームワークと *Infosys Topaz™* を活用

インド、ベンガルール - 2025 年 5 月 29 日

次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである [インフォシス](#)（NSE、BSE、NYSE：INFY）は本日、[Infosys Topaz™](#) AI オファリングと [Google Cloud の Vertex AI Platform](#) を搭載した 200 以上のエンタープライズ AI エージェントの提供を開始することを発表しました。この AI エージェントは、複雑なワークフローを変革し、複雑なマルチエージェントのビジネスオペレーションを効率的に管理することで、企業に具体的な成果をもたらすよう設計されています。

これらのエンタープライズ AI エージェントは、ヘルスケア、金融、小売、通信、製造、農業など、さまざまな分野に対応しています。高度な機械学習と認知アーキテクチャを活用したエージェントは、生の入力を実用的な洞察に変換するデータ抽出や、多様なデータタイプを効果的に処理するマルチモーダル機能などの強力な機能を備えています。エージェントは、暗号化されたチャネルを通じて安全な通信を確保し、機密情報を保護するための堅牢なデータプライバシー対策を支持しています。さらに、エンタープライズ AI エージェントは自律的な意思決定機能を備えており、シナリオを独自に分析し、複雑なタスクを実行することで、業務効率の向上を促進します。例えば

- 予測的ネットワークキャパシティプランニングの分野では、モニタリングエージェントがリアルタイムのネットワークキャパシティを継続的に追跡し、緊急の懸念事項があれば警告を発します。このプロアクティブなモニタリングは、潜在的なネットワーク問題を未然に防ぎ、信頼性と効率を高めます。ダウンタイムの削減、ユーザー・エクスペリエンスの向上、リソース利用の最適化につながります。
- 買掛金と売掛金のプロセスにおいて、企業財務エージェントは正確な財務報告とキャッシュフロー管理を保証するため、支払遅延や回収漏れのリスクを減らし、全体的な財務効率と信頼性を高めます。
- 製造分野では、予測エージェントがリアルタイムのデータを使って車両部品の需要を予測し、在庫の最適化とサプライチェーンの管理を行う。このアプローチは、生産調整、在庫評価、不足部品の自動発注を行い、オペレーションの有効性と信頼性を高めます。

バラクリシュナ・D.インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント、AI およびインダストリー・バーティカルズ担当グローバル・サービス・ヘッドである R.R.（バリ）は、「200 を超えるエンタープライズ AI エージェントの開発は、エンタープライズ AI の分野でイノベーションを起こし、リードする当社の継続的な取り組みのマイルストーンとなります。Infosys Topaz™ AI 製品と Google Cloud の高度な AI フレームワークにより、当社は人間と AI のコラボレーションを強化し、業界全体で新たなレベルの効率性と精度を引き出しています。このイニシアチブは、当社の能力を示すだけでなく、企業の次なるナビゲーションを支援するという当社のコミットメントを強化するものです。」

「エンタープライズ AI エージェントは、効率化を促進し、コストを削減し、意思決定プロセスを強化することで、業務の改善を実現する力を備えています」と、Google Cloud の GSI およびコンサルティングパートナーシップ担当バイスプレジデントである **Victor Morales 氏** は述べました。「Infosys のエンタープライズ AI エージェントは、Google Cloud の Vertex AI プラットフォームを基盤に構築されており、企業は複雑なワークフローの改善や、大規模なマルチエージェントオペレーションの支援を実現できます。」

この AI エージェントは、[Infosys Topaz™を活用した Google Cloud Center of Excellence](#) の直接的な成果として、重要なマイルストーンとなります。このイニシアチブは、Infosys Topaz™の高度な AI 機能と Google Cloud のジェネレーティブ AI 技術を活用し、革新的なエンタープライズ AI ソリューションを提供します。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人を超える社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、ビジネス、コミュニティのために次の機会を創造するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的に行います。私たちは、AI ファーストのコアでお客様を支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、私たちのイノベーション・エコシステムからデジタル・スキル、専門知識、アイデアを移転することで、常時オン・ラーニングによる継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材がインクルーシブな職場で活躍する、統率のとれた環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

www.infosys.com、インフォシス（NSE、BSE、NYSE: INFY）が御社の次のナビゲーションをどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに記載されている当社の将来的な成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995年米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に基づく「セーフハーバー（免責条項）」の適用を目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行に関するリスクと不確実性（）、人材獲得競争の激化、人材を引き付け維持する能力、賃金の上昇、従業員の再教育のための投資、ハイブリッド・ワークモデルを効果的に導入する能力、経済の不確実性、地理的政治情勢などが含まれますが、これらに限定されるものではありません、技術的混乱とジェネレーティブ AI などのイノベーション、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含むコーポレートアクション、サイバーセキュリティに関する期待。将来の見通しに関する記述によって示唆されるものとは異なる実際の結果や成果をもたらす可能性のある重要な要因については、2024 年 3 月 31 日に終了する会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会への提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov。インフォシスは、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に記載された記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

して、Responsible AI に関するグローバルな対話に参加しています。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人以上の社員が人々の潜在能力を引き出し、人々、企業、コミュニティに新たな機会を創出するために働いています。56 カ国以上のクライアントをサポートし、40 年以上の経験を活かしてクラウドや AI を用いたデジタル変革を推進しています。当社は、AI を中核に据え、大規模なアジャイルデジタルを活用してビジネスを強化しています。イノベーションエコシステムからデジタルスキル、専門知識、アイデアを移転することで、常に接続された学習を推進し、継続的な改善を図ります。また、多様な人材が活躍できる包括的な職場環境を提供し、ガバナンスが行き届いた環境に優しい組織を目指しています。Infosys（NSE、BSE、NYSE：INFY）が貴社の次なる航海をどのように支援できるかについては <https://www.infosys.com/jp/japan/> をご覧ください。

セーフハーバー

本リリースにおける、当社の将来の成長見通し、または将来の財務・営業実績に関する特定の記述は、1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」規定の適用対象となることを意図した将来見通しに関する記述であり、このような将来見通しに関する記述と実際の結果または成果が大幅に異なる可能性がある、多数のリスクおよび不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクおよび不確実性には、当社の事業戦略の実行に関するリスクおよび不確実性、人材獲得競争の激化、人材の確保と維持、賃金の上昇、従業員の再教育への投資、ハイブリッド型勤務モデルの効果的な実施能力、経済の不確実性および地政学的な政治情勢、ジェネレーティブ AI などの技術的混乱や技術革新、移民規制の変更を含む複雑かつ進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、資本配分方針、市場での地位、今後の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティ問題などです。実際の業績や結果が将来の見通しに関する記述によって暗示された内容と異なる可能性がある重要な要因については、2024年3月31日に終了した会計年度に関するフォーム 20-F による年次報告書を含む、米国証券取引委員会への提出書類でより詳細に説明されています。これらの書類は www.sec.gov でご覧いただけます。Infosys は、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に含まれる将来の見通しに関する記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時行う場合があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社または当社を代表して行われる将来の見通しに関する記述を随時更新する義務を負いません。

お問い合わせ先：

Infosys 東京オフィス 安藤

Email : jo_ando@infosys.com